

<基本情報>

所在地：大分県佐伯市

<農場概要>

- 面積：約1ha（すべて有機）
- 栽培品目：米、露地野菜（にんじん、玉ねぎ等40種類以上）
採卵鶏11羽



<有機農業に取り組むきっかけ>

- 園主の 豎山 剛さんは、東京の企業で働いていた30歳過ぎの頃、福岡正信氏等の著作を読み、消費するだけの生活、食べることに疑問を持ち始め、有機農業を志す。
- 有機農業を実践するため、34歳の時、企業を退職して鹿児島県いちき串木野市に移住。JAへ勤める傍ら、米、麦、露地野菜の栽培を開始（約1ha）。自然卵養鶏で150羽を飼養していたが、台風により鶏舎が崩壊。
- 奥様の大分県への転勤に伴い、再移住を決意。大分県内で移住先を探す中、数々の縁が繋がりに、平成25年（2013年）に大分県佐伯市に再移住。
- **令和4年（2022年）に有機JAS認証を取得。**

<販売について>

- 米、野菜を佐伯市学校給食に提供。
- 個人販売、マルシェへの出店。
- 生産された有機野菜は、奥様が経営するカフェでも提供。



【お問合せ先】

オーガニックカフェ たら・ぷれた（奥様経営のカフェ）

Instagram : [@terapuleta](https://www.instagram.com/terapuleta)

<病害虫対策・除草対策・土づくり>

- **病害虫対策**
太陽熱養生処理、作付けする場所や時期の分散、連作を避ける。
- **雑草対策**
草が小さいうちに管理機で中耕を行う等、こまめに物理的防除を実施。
- **土づくり**
鶏糞を主体に、稲わら、米ぬか、もみ殻燻炭、竹炭等を自らブレンドした堆肥を使用。

<苦労しているところ>

- 管理機等、機械が小型であり、労力、時間共に多く必要なところ。

<今後の展開>

有機栽培による作物の安全性はもちろんのこと、品質を保ったまま、美味しく、見た目の美しさも追及していきたい。

